

# 循環型支援システムの構築と充実

## 【プロジェクト会議】

- ・日本語教育の推進に向けて、基本方針を決定する。
- ・進捗状況を検証する。

- ▶**構成** 教育長・次長・参事・全課長・外国人児童生徒在籍校代表校長
- ▶**助言** 早稲田大学大学院日本語教育研究科教授

## 【日本語教育担当者ネットワーク会議】

- ・プロジェクト会議で決定した方針を、各校へ伝える。
- ・日本語指導のための教材作成を行う。
- ・教材活用のための情報交換を行う。
- ・日本語指導に関わる研修会を行う。

- ▶**構成** 主に国際教室設置校の日本語教育担当者

## 【学校】

- ▶**外国人児童生徒が在籍する全小中学校**
  - ・JSLバンドスケールによる、日本語能力の把握を行う。
  - ・バンドスケール判定会議において、指導や支援について検討する。
- ▶**国際教室設置校**
  - ・「国際教室運営会議」を開催する。
- ▶**日本語指導**
  - ・リライト教材を活用しながら、教科につながる学習を行う。
  - ・小集団指導を積極的に導入し、子ども達同士の学び合いをつくる。
- ▶**校内研修**
  - ・JSLカリキュラムを取り入れた分かりやすい授業づくりについて

人的配置

日本語教育  
コーディネーター  
指導主事の派遣

課題

実践